

1 平成21年12月の消費者物価指数等

- 広島市総合指数（100.0）は前月比で3か月連続の下落（▲0.1）。前年同月比は9か月連続で下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（100.5）は前月比で3か月連続の下落（▲0.1）。前年同月比は9か月連続で下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（98.8）は前月比で3か月連続の下落（▲0.1）。前年同月比は9か月連続で下落し、下落幅（▲1.5）は比較可能な平成17年以降で最大となった。

2 総合指数，生鮮食品を除く総合指数，食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	100.0	▲ 0.1	▲ 2.2
生鮮食品を除く総合指数	100.5	▲ 0.1	▲ 1.7
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	98.8	▲ 0.1	▲ 1.5

3 前月からの動き

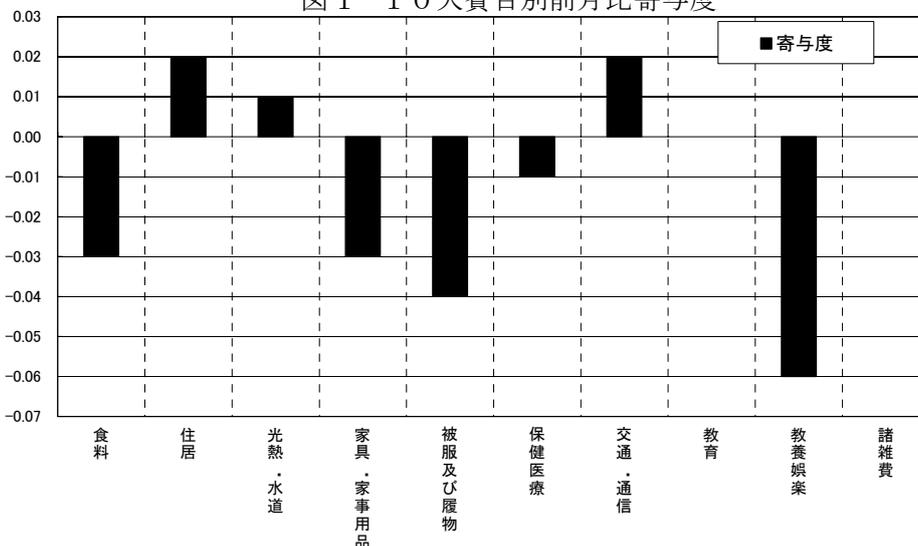
～教養娯楽，被服及び履物を中心に下落。～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	100.0	102.1	100.3	103.2	84.3	107.8	97.4	98.3	106.0	93.6	101.7
前月比 (%)	▲ 0.1	▲ 0.2	0.1	0.2	▲ 1.1	▲ 0.7	▲ 0.4	0.2	0.0	▲ 0.5	0.1
寄与度	▲ 0.12	▲ 0.03	0.02	0.01	▲ 0.03	▲ 0.04	▲ 0.01	0.02	0.00	▲ 0.06	0.00

(参考) 主な要因となっている10大費目について，寄与の大きかった中分類項目
 教 養 娯 楽 : 教養娯楽用品 (前月比 ▲2.9%，寄与度▲0.06) 等
 被服及び履物 : 洋服 (前月比 ▲1.7%，寄与度▲0.04) 等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度: 物価全体(総合)の上昇(下落)に，各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来，寄与度の合計は，総合指数の前(年同)月に対する変化率となるが，四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
調理食品 (冷凍調理コロッケ 等)	0.8%	教養娯楽用品(ペットフード[ドッグフード] 等)	▲2.9%
シャツ・セーター類(婦人セーター[長袖] 等)	2.2%	洋服(背広服[冬物] 等)	▲1.7%
交通(航空運賃 等)	0.8%	室内装備品(カーテン 等)	▲5.7%
寝具等(布団 等)	6.3%	履物類(婦人靴 等)	▲4.6%
家賃(持家の帰属家賃[木造中住宅] 等)	0.1%	野菜・海藻(にんじん 等)	▲1.0%

(参考) 寄与の大きかった品目 (上位2位)

上昇：外国パック旅行, 冷凍調理コロッケ 等

下落：婦人靴, 宿泊料 等

4 前年同月からの動き

～食料, 光熱・水道, 家具・家事用品, 教養娯楽が主な下落要因で, 9か月連続の下落。～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲ 2.2	▲ 3.4	▲ 0.4	▲ 6.4	▲ 9.9	▲ 1.8	▲ 0.9	0.6	0.9	▲ 3.3	▲ 1.3
寄与度	▲ 2.21	▲ 0.92	▲ 0.07	▲ 0.45	▲ 0.32	▲ 0.10	▲ 0.04	0.08	0.04	▲ 0.34	▲ 0.08

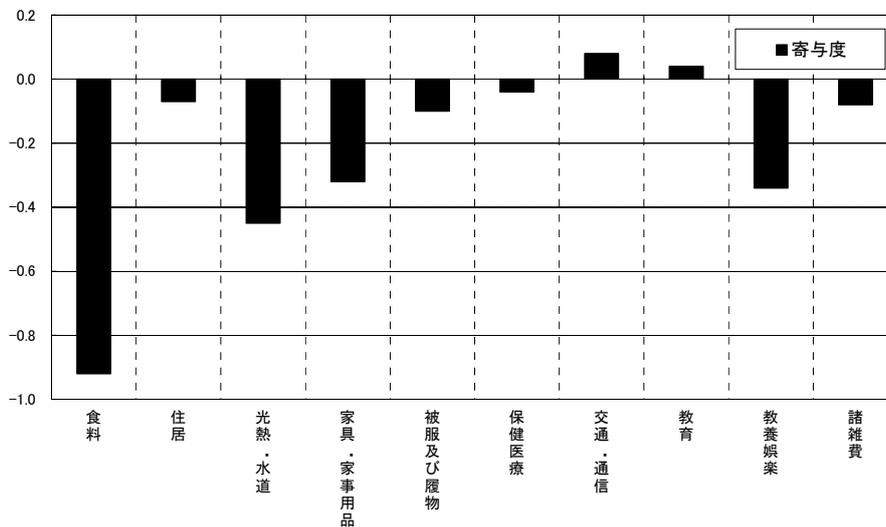
(参考) 主な要因となっている10大費目について, 寄与の大きかった中分類項目

食 料 : 野菜・海藻 (前年同月比▲13.8%, 寄与度▲0.37) 等
果物 (前年同月比▲19.3%, 寄与度▲0.17)

光 熱 水 道 : ガス代 (前年同月比▲14.3%, 寄与度▲0.33)

家具・家事用品 : 家庭用耐久財 (前年同月比▲16.4%, 寄与度▲0.13) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
自動車等関係費(ガソリン 等)	2.3%	野菜・海藻(キャベツ 等)	▲13.8%
菓子類(チョコレート 等)	1.8%	ガス代(都市ガス代 等)	▲14.3%
保健医療サービス(出産入院料[公立] 等)	1.2%	果物(みかん 等)	▲19.3%
外食(コーヒー[外食] 等)	0.3%	家庭用耐久財(ルームエアコン 等)	▲16.4%
授業料等(専門学校授業料 等)	0.6%	魚介類(かき[貝] 等)	▲5.2%

(参考) 寄与の大きかった品目 (上位2位)

上昇：ガソリン, チョコレート 等

下落：都市ガス, みかん 等

今月の話題～広島市の平成21年平均消費者物価指数について～

項目	指数	前年比
総合指数	100.9	▲1.3% (昭和45年以降最大の下落)
生鮮食品を除く総合指数	101.1	▲1.2% (昭和45年以降最大の下落)
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数	99.1	▲0.8% (平成17年以降最大の下落)

広島市の平成21年平均総合指数は100.9(前年比▲1.3%)、生鮮食品を除く総合指数は101.1(前年比▲1.2%)となり、いずれも比較可能な昭和45年以降で最大の下落となりました。

食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数については、99.1(前年比▲0.8%)となり、指数の作成を開始した平成17年以降で最大の下落となりました。

図1 総合指数及び前年比の推移(広島市)

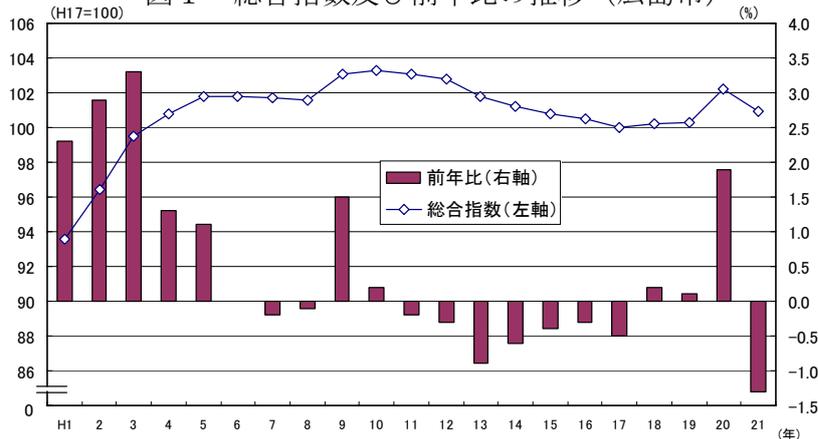


図2 生鮮食品を除く総合指数及び前年比の推移(広島市)

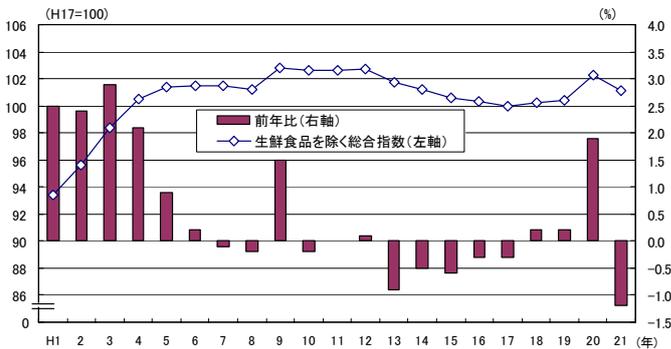
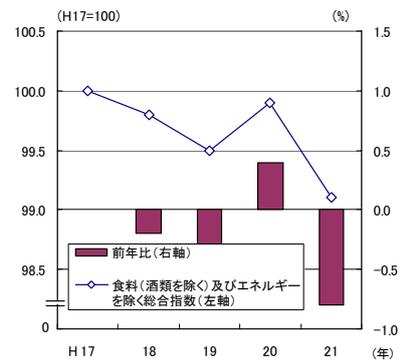


図3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数並びに前年比の推移(広島市)



前年と比較すると、総合指数の下落に最も寄与したのは交通・通信、次に教養娯楽、光熱・水道と続いています。中分類別にみると、ガソリン等を含む自動車等関係費が、最も下落に寄与しています。

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	100.9	104.2	100.4	107.2	87.8	105.2	98.2	97.6	105.8	95.2	102.1
前年比(%)	▲1.3	0.4	▲0.2	▲2.7	▲5.3	0.6	▲0.9	▲5.1	1.5	▲2.3	▲0.2
寄与度	▲1.22	0.09	▲0.04	▲0.19	▲0.17	0.03	▲0.04	▲0.72	0.08	▲0.23	▲0.01

※ 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

交通・通信 : 自動車等関係費(前年比▲8.5%, 寄与度▲0.66) 等

光熱・水道 : 他の光熱(前年比▲33.5%, 寄与度▲0.15) 等

(参考) 前年からの総合指数の動きについて寄与の大きかった中分類項目(寄与度順)

上昇		下落	
中分類	前年比	中分類	前年比
洋服(婦人スラックス 等)	3.2%	自動車等関係費(ガソリン 等)	▲8.5%
菓子類(キャンデー 等)	3.2%	他の光熱(灯油)	▲33.5%
外食(カレーライス 等)	1.0%	教養娯楽用耐久財(パソコン[ノート型] 等)	▲25.8%
調理食品(ぎょうざ 等)	1.6%	家庭用耐久財(ルームエアコン 等)	▲12.3%
授業料(私立幼稚園保育料 等)	1.3%	教養娯楽サービス(外国パック旅行 等)	▲1.5%